

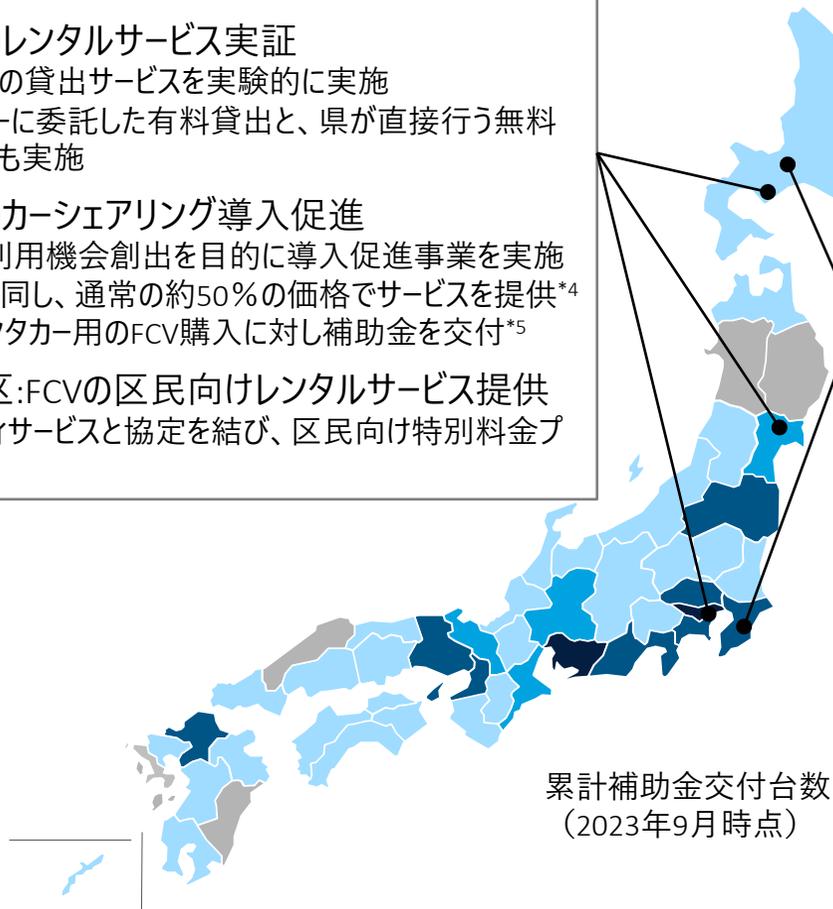
# 【燃料電池自動車の普及状況】

## FCV\*1は全国各地にて、様々な方法で活用されている

### 行政が提供するFCVのレンタル・カーシェアリングサービス

- 北海道室蘭市:FCVカーシェアリング事業\*2
  - カーシェアリング事業として、市民に対しFCVを貸出を実施
  - 抽選を実施し当選者に3泊4日で無料貸出\*3
- 宮城県:FCVのレンタルサービス実証
  - 個人・団体への貸出サービスを実験的に実施
  - トヨタレンタカーに委託した有料貸出と、県が直接行う無料貸出をいずれも実施
- 東京都:FCVのカーシェアリング導入促進
  - 東京都民の利用機会創出を目的に導入促進事業を実施
  - オリックスと共同し、通常の約50%の価格でサービスを提供\*4
  - カーシェア・レンタカー用のFCV購入に対し補助金を交付\*5
- 東京都中野区:FCVの区民向けレンタルサービス提供
  - トヨタモビリティサービスと協定を結び、区民向け特別料金プランを設定\*6

凡例 ■ 未導入 ■ 1~50台 ■ 50~99台 ■ 100~999台 ■ 1,000台以上



### 災害時に非常用電源としてFCVを活用

- 2018年9月北海道胆振東部地震発生時、FCVを活用し、札幌市役所本庁舎前で約2,000人の被災者の方々に携帯電話充電サービスを実施
- 2019年9月台風15号発生時、千葉県被災地にFCVや燃料電池バスを派遣し、携帯電話や家電の電力に活用



北海道札幌市役所で  
携帯電話に電力供給するFCV



千葉県で電力供給するFCV